

1. 平成 28 年熊本地震の概要

		前震	本震
発生日時		平成 28 年 4 月 14 日 午後 9 時 26 分	平成 28 年 4 月 16 日 午前 1 時 25 分
震源地		熊本県熊本地方 北緯 32°44.5′, 東経 130°48.5′ 深さ 11km	熊本県熊本地方 北緯 32°45.2′, 東経 130°45.7′ 深さ 12km
規模		マグニチュード 6.5	マグニチュード 7.3
震度	震度7	益城町	益城町、西原村
	震度6強	—	宇城市、宇土市、菊池市、熊本市、 合志市、大津町、嘉島町、南阿蘇村
	震度6弱	宇城市、熊本市、玉名市、西原村、 嘉島町	阿蘇市、天草市、上天草市、玉名市、 八代市、菊陽町、和水町、氷川町、 美里町、御船町、山都町

2. 熊本県内の被災状況

(熊本県危機管理防災課「平成 28(2016)年熊本地震等に係る被害状況について【第 282 報】」より)

①人的被害

死者: 264 人
重傷者: 1,183 人
軽傷者: 1,550 人

②住宅・建物被害

全壊: 8,643 棟 12,545 世帯 14,598 人
半壊: 34,392 棟 67,909 世帯 45,365 人
一部損壊: 154,148 棟 134,112 世帯 130,865 人

3. 本学の施設被害状況(熊本大学「平成 28 年熊本地震記録集」より)

・黒髪キャンパス

重要文化財である五高記念館、化学実験場及び工学部研究資料館は、煙突の倒壊、壁のひび割れや落下、屋根瓦の損傷や落下など甚大な被害を受けたため、直ちに立入を規制した。また、工学部1号館は、柱や壁梁のひび割れなど建物構造部に大きな被害を受けたため、立入を規制し建物構造被害の詳細調査を行い、取り壊しの後、新築することになった。

・本荘キャンパス、大江キャンパス

本荘北キャンパスの外來臨床研究棟は、柱や壁のせん断、ひび割れなど建物構造部に大きな被害を受けたため、立入を規制し建物構造被害の詳細調査を行った。また、本荘中キャンパスの施設は、建物の外壁タイル崩落、地盤沈下やひび割れなど大きな被害を受けた。大江キャンパスでは、建物の被害のほか外構のブロック塀の破損などもあった。

・京町キャンパス、城東町キャンパス、宇留毛キャンパス

京町キャンパスの附属小学校管理棟は、柱等のひび割れなど建物構造部に大きな被害を受けたため、立入を規制し建物構造被害の詳細調査を行い、取り壊しの後、新築することになった。また、附属小学校A棟・B棟の教室は、天井ボードの落下などの被害があった。城東町キャンパスでは、塀の破損や傾きが生じた。宇留毛キャンパスでは、擁壁等に法面ひび割れや地割れが生じたため、国際交流会館B棟と職員宿舎の入居者を退去させ、立入を規制した。